みちのく・ふるさと貢献基金
2018 年度　教育・福祉・環境助成活動報告書

1．活　動　名	国際基準に基づく災害救助犬とハンドラーの育成活動
2．実 施 期 間	2018 年 10 月 1 日から 2019 年 8 月 31 日
3．実 施 場 所	①青森市浪岡の災害救助犬訓練所「イヌヒトくらす」 ②長野県「八ヶ岳国際救助犬育成センター」 ③青森県消防学校
4．実 施 内 容	①国際救助犬の認定試験に必要な訓練道具 6 種類（可動橋、水平梯子、可動式バレルブリッジ、一本橋、初歩用一本橋、テーブル 4 個）を整備し、訓練を行った。 ②長野県での認定試験を見学、さらに訓練指導を受け、広域捜索と瓦礫捜索の適性試験を受験した。 ③講師を長野県から招聘し、青森県消防学校で災害救助犬に関する公開講座を開催した。
5．成果・効果	①国際救助犬の認定試験を受験する際に必要な訓練道具 6 種類を整備し、技術指導を受けたので、青森市浪岡の訓練所において受験を目標に常時、犬とハンドラーの訓練が可能となった。 ②国際救助犬の広域捜索適性試験に 4 頭合格、瓦礫捜索適性試験に 2 頭が合格した。（2019 年 11 月に国際救助犬の瓦礫捜索適性試験に 1 頭合格、広域捜索本試験は 2 頭不合格であった。） ③青森県消防学校で災害救助犬の公開講座を実施したことから災害救助犬についての認知度が高まり、消防、警察、自衛隊との連携訓練・活動が可能になった。

6．収支決算書

収　入　（円）		支　出　（円）		
科　目	金　額	科　目	金　額	内　訳
助 成 金	650,000	公開講座講師謝金	100,000	交通費含む
利 息	1	研修費	35,000	2019 年 3 月長野セミナー
		受験料	50,500	5 頭分
		宿泊費	139,200	2018 年 11 月 2019 年 3 月
		レンタル料	6,480	貸布団 2 床
		労務費	3,000	

		消耗品費	140,489	ｷｬﾘｱﾊｰﾈｽ 2 個 訓練用具 5 種 訓練用具用塗料等
		交通費	118,989	車両 2 台 長野～青森往復 2018.11 と 2019.3 の 2 回高速代、燃料費
		通信費	372	
		会議費	38,275	
		印刷代	12,571	リーフレット、機関誌
		雑費	5,850	長野ドッグラン代 5 頭分
自己資金	725			
合　　計	650,726	合　　計	650,726	

《 助成金を申請中の事業 》

■2020 年度日本郵便 年賀寄付金配分事業

セラピー犬の訓練施設の改修　　2,630,000 円

■2020 年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業

国際基準に基づく災害救助犬とそのハンドラーの育成　　843,000 円